



1982/4 NO. 159



活力ある富山県へ

総額3,597億2,696万円



21世紀を担う子供たちが、知・徳・体の調和のとれた人間に成長できるよう……

厳しい財政下に積極性を

昭和57年度富山県予算

去る二月二十七日～三月二十日まで、昭和五十七年度富山県予算案を審議する二月定例県議会が開会され、慎重な審議を経て、予算案が原案どおり可決されました。

昭和五十七年度富山県予算

一般会計 三、一三一億四、二九四万円
 特別会計 四七五億八、四〇二万円
 総額 三、五九七億二、六九六万円

次に、効率的な事業の選択に努めながら、限られた財源で最大の効果を生むよう留意した、今年度の富山県予算の主なものをご紹介します。

県立近代美術館収蔵美術作品紹介⑬

「食前の祈り」

金山 康喜作 (1950年)
 キャンバス・油彩
 117.0cm×90.7cm

県立近代美術館収蔵美術作品の紹介シリーズでは、これまで十一回にわたって、二十世紀美術の流れを追ってきました。今回からは収蔵作品の中から富山県出身作家、富山県ゆかりのある作家の作品十一点を挙げて、紹介します。

金山康喜は一九二六年、故金山喜久氏（元燐化学社長）の長男として大阪に生まれました。旧制富山高校卒業後、東京大学、同大学院で経済学を専攻しました。そうした彼が学問の世界を離れ、しだいに画家の道を歩み始めたのは、在学中に猪熊弦一郎の画塾に通い始めてからのことです。

本館収蔵の「食前の祈り」は一九五〇年に制作された、この金山初期の作品の中の一点です。金山の一連の室内・静物画は、彼の周辺にあるビン、コーヒー挽きなどの日用品が取り上げられ、それらは人気がない室内で生活の臭いを消され、本来の姿で静まりかえっています。金山の過敏ともいえる神経、鋭い感受性がとらえた世界といえるでしょう。

しかし、これと平行して金山の一連の作品に感じられることは、彼がこうした鋭敏な感受性とともな、極めて理知的な画面構成力を有していたことです。すなわち、彼の一連の作品は、画面前景にテーブルを逆遠近法で配置することによって基本構図が作られ、このテーブル上に正面からとらえた器物が置かれ、その周囲に高い視点から見た器物が配置されています。こうした多視点の共存は「食前の祈り」においても例外ではありません。しかも「食前の祈り」では、テーブル上のビンと天井からつるされた電球が、画面の中央線をつなぐ面画を二分し、画面右半分の四人の寡黙（かもく）な男たちの世界と、左画面の椅子のリズミカルな世界とが対象、対比されるようになっていきます。

金山康喜の友人であった画家・田渕安一氏は「金山は最初から画家だった。……他の誰のでもない独自の世界に、すっかり完成された表現を与えて登場し、短いながら緊張した制作活動の果てに忽然（こつぜん）と消えた。」と語ったことがあります。

金山がどのような理由で絵の世界に傾斜し、室内の世界に深く没頭していったかはナゾのままでしょう。でも、彼がその短い生涯の中で、他と決して相入れることのできない世界をもち始めたとき、画家としての金山康喜が誕生したといえるでしょう。そして、彼のこの内深い世界は、彼の絵筆を通す以外、決して表現も伝達もされないものだったのではないのでしょうか。

（学芸員・大坪健二）

紹介作家・作品 (予定)

掲載月	作 品	作 品
57 4	食前の祈り	金山 康喜
5	老子出関の図	篁 牛人
6	裸婦二人	荒谷直之介
7	デカルコマニー	滝口 修造
8	空・鳥・水	南 桂子
9	鯉魚の図	棟方 志功
10	深山湖情(I)	豊秋 半二
11	堰	小坂 勝人
12	大仏殿(京都のうち)	織田 一磨
58 1	牡丹の図	石崎 光瑤
2	房州白浜所見	郷倉 千鞠
3	空	山崎覚太郎

4月号 ●もくじ

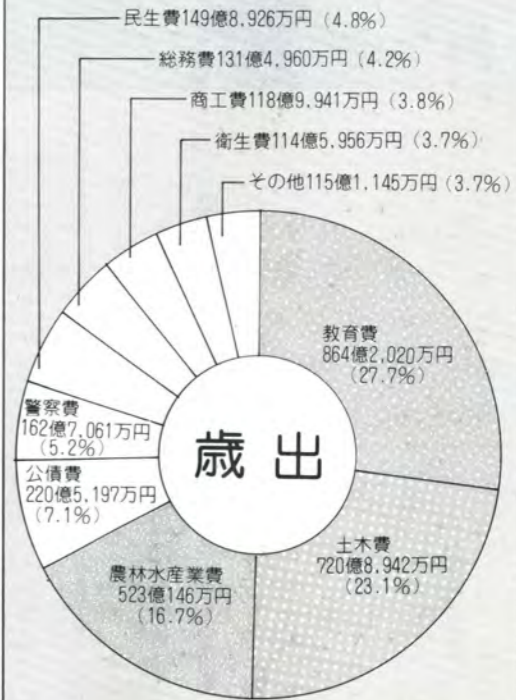
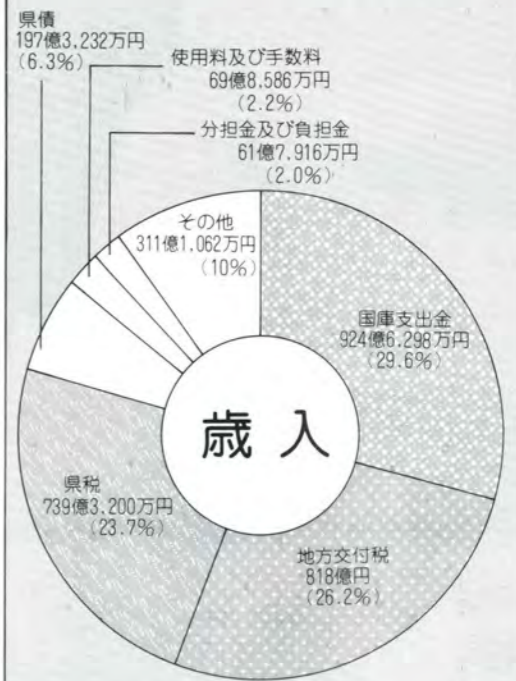
県立近代美術館収蔵美術作品紹介⑬ 表1・2
 「食前の祈り」
 厳しい財政下に積極性を 1~9
 昭和57年度富山県予算
 現代日本のポスター展開幕 10~11
 とやま「あの日あとき」 12~13
 富山県の転機を探る①
 観どころ味じまん 14~15
 ⑬ 井波町
 「21世紀のとやま」をテーマに 16~20

きょうは家族会議
 食品加工研究所を着工 21
 「となみ養護学校」が開校 22~23
 こちら消費生活センターです 24~25
 トピックス・県政の動き・お知らせ 26~27
 みなさんと県庁のパイプ役 28
 県有施設紹介① 表3
 埋蔵文化財センター
 なんでも見よう、聞いてみよう 表4
 県政バス教室5月分申込受付中

活力ある富山県づくり
昭和三十七年度
富山県当初予算
三、五九七億二千七百万円



一般会計予算
3,121億4,294万円
のあらまし



健康と福祉の充実をめざして

生涯を通じて健康で創造的、活動的な生活を営む事は私たちがだれしもの願いですし、それは「活力ある富山県」をつくるための基礎となるものです。その実現には、スポーツ、レクリエーションも含めた健康増進のための施策を総合的に進めていくことが必要です。

また、これからの福祉は在宅福祉を中心とする「地域福祉」の考えを基本に、老人や心身障害者などの方々の生涯福祉が実現できる体制を整えることが必要といえるでしょう。

このため、昨年九月にオープンした健康増進センターを健康づくりの中核基地として活用するのをはじめ、主婦を対象として食生活の改善、健康管理技法の学習会などを行う「健民運動モデル事業」を実施することにしています。

また、福祉の充実のためお年

す。

社会を支える婦人のために

社会を支える婦人。その地位の一層の向上のための施策は、活力ある富山県づくりに欠かせません。さきに策定した「婦人の明日をひらく富山県行動計画」の諸目標を達成するため、就労婦人対策の強化、調査研究の促進など婦人施策の一層の充実を図ります。

昨年、西ドイツ、フランスに派遣した婦人の翼ですが、ことしは西ドイツ、スイスに派遣することとし、婦人の地域社会活動や消費者運動、それに自然保護などについて学んでいただくことにしています。

スポーツを楽しむ

近年、みなさんの健康、体力への関心やスポーツへの意欲はますます高まってきています。

明日の郷土を担う若者のために

若者たちは、二十一世紀の幕開けの中心的な役割を担う世代です。このため、学校教育では知・徳・体の調和のとれた人間

寄りの生涯学習として「高齢者教室」を開設するほか、身体障害者療護施設、県立となみ養護学校を開所、開校します。なお、リハビリテーション専門病院の建設は、引き続き推進します。

人づくり

明日を拓く

性を養い、教育環境の整備を進めるとともに、教職員百十四人を増員します。また、明五十八年度には新設高校を三校開校するなど、地域に根ざした学校づくりを進めます。

教育、科学教育、情報処理教育の三センターを統合して「総合教育センター」とし、国際理解教育、創造性の開発など新しい研究分野に取り組むことにしています。

次に高等教育機関の整備ですが、高岡市に設置が予定されて

いる国立の短期高等教育機関は、今年度の政府予算に創設準備費が計上されました。今後、高岡市とともに開学に向けて努力してまいります。また、富山女子短期大学商経学科の増設が予定されているほか、県立技術短期大学についてはコンピュータ教育の拡充強化について検討を進め、実験実習設備の充実を努めます。

さて、青少年を伸びやかに育てる施策ですが、十二回目を迎える青年の海外派遣は、十月に

二百四十人余りの若者を中華人民共和国へ、また農業部門は引き続きアメリカ合衆国、カナダへ派遣することになっています。この体験を契機に、派遣団員が国際感覚豊かな中堅青年として育つよう願っています。また、少年に夢と希望をもたせ、その自立心や友愛・協調の精神を培うため、青年の海外派遣に使用する往来船舶を利用して、小学生と老人の世代間交流や中学生の友情を深める「富山県ふれあいの船」を行うことにしています。



社会を支える婦人のために



健康と福祉の充実をめざして

明日の郷土を担う若者のために



香り高い芸術文化を育て、親しむ



スポーツを楽しむ

だれもが世代にふさわしいスポーツを楽しむ、心身ともに健康な生活を送れるよう生涯スポーツ体系を充実させることが必要です。このため、スポーツメニューの普及や体育施設の整備、指導体制の確立などを進めます。県営総合体育センターの建設は、国際大会や全国大会を開催でき

豊かな心を育む

規模で、指導者養成、スポーツ情報の提供など総合的な機能を備えた近代的施設として計画してきましたが、いよいよ今年度に着工することになっています。

県民のみなさんの生涯学習意欲の高まりには目を見はるものがあります。この意欲に十分応えるため、各世代にふさわしい学習と世代間の交流や、世代を超えた創造力の開発に着目しながら生涯学習体系を確立します。また、県内の芸術文化関係団体の活動を一層活発にするため、

「富山県芸術文化振興基金」を新設し、県西部地域の県民センターの建設計画を進めます。

なお、県立近代美術館では現代芸術祭、ジョージ・シーガル展など七つの企画展を開催し、だれもが気軽に訪ね、美に親しむ憩いの場となるよう努めています。

魅力ある郷土づくり

富山に ひかりを

高速・大量の輸送手段をもつことは、地域の発展と活力の維持にとって欠かすことはできません。

北陸新幹線については、昨年十一月に優先着工が決定され、五十七年度政府予算には、条件つきながら建設費五十億円が計上されました。

また、三月三十日には、環境影響評価実施のための候補駅・ルートが公表され、着工に向けてさらに前進したものと考えられます。

地元協力の問題など、今後解決しなければならぬ問題もありますが、県民のみなさんのご理解をいただきながら対処してまいります。

まいります。

富山空港の拡張整備は、昭和五十八年度末のジェット機就航をめざして工事を進めているところですが、今年度は滑走路、誘導路などの本格的な工事にかかるとしています。

次に道路網の整備ですが、北陸自動車道は滑川以東の早期開通めざして建設の促進を図りま

す。また、国道8号線については滑川・富山バイパスの早期完成に努め、富山・高岡間の四車線化の促進を図ります。

快適な 生活環境づくり

憩いと潤いのあるふるさとづく

くりは、明日への希望と活力を生み出す源泉です。

緑あふれる大型都市公園として建設中の県民公園太閤山ランドですが、今年度には階段状の滝や壁泉を設置するのをはじめ、多目的体育館の建設にとりかかるなど、五十八年の開園をめざします。

また、今年度から五カ年計画で、富山市から魚津市までの延長二十六キロに、健康づくりと観光、交通対策をあわせ備えた「しんきろう自転車道」の造成にかかります。

持ち家率全国一の富山県ですが、従来にも増して居住環境、暮らしのゆとりが重視されてきています。こうした考えから、福祉、無雪害、省エネルギー住宅、住居改善を柱にした「住みよい家づくり資金融資制度」を創設するほか、住宅供給公社分譲住宅の購入者の初期負担の軽減を図る「特別分譲住宅制度」を新設します。

さて、小矢部川流域下水道は昨年末、二上浄化センター用地の取得について、土地所有者協議会の同意をいただきました。今後は、早期完成に向けて努力してまいります。

道路交通環境の整備としては、高岡市に交通管制センターを設置し、コンピューターによる信号機、道路標識の広域制御を行うことで、道路交通の円滑化を図る



富山にひかりを



観光——誇れる郷土を



快適な生活環境づくり



県土を災害から守る



美しい自然を守る



消費生活の安定のために



雪に強いまちづくり



県民の安全を守るために

県民の安全を 守るために

安全、快適な県土をつくる災害防止対策として、河川改修、治山、砂防を進めるほか、なだれ防止林造成事業に積極的に取り組みます。

県民のみなさんの平穏な暮らしを守るため、少年非行防止や交通事故防止など、地域に密着した街頭警察活動の強化を図ります。また、防火対策としては旅館、ホテルなどの整備項目の調査を徹底、指導し、表示、公表制度の推進を図ります。

消費生活の 安定のために

魅力ある郷土づくりには、消費生活の安定、向上が欠かせません。このため、生活必需品の安定供給や価格監視、物価情報などの物価対策を機動的に実施します。また、地域食品などの規格表示の自主規準設定に努めるほか、苦情処理体制を整備します。

ことにしています。最後に環境の保全ですが、この九月には富山新港地区のグリーンベルトが完成します。これは新港工業地帯から出される騒音、悪臭などを和げるものですが、地域の方々をはじめとして広く県民のみなさんの憩いの場として利用されることを期待しています。

雪に強い まちづくり

56年豪雪の教訓をいかして、「総合雪対策研究会」を設置して雪対策、有効利用について研究を進め、昨年末に中間報告を受けました。県では、これに基づいてすでに無雪害まちづくり事業、地域ぐるみ除排雪活動モデル事業など具体的な施策を講じてきました。今年度は、長期的課題や雪の有効利用などについて、引き続き調査研究に取り組みます。

このほか、バス路線の優先的除雪、歩道の除雪、市街地での

美しい 自然を守る

雪捨て場の確保を進め、あわせて消融雪施設の拡大、除雪機械の大幅導入を進めます。

豊かな人間性を育み、明日への活力を養う糧である自然を守り、後世に引き継ぐことは私たちの使命です。このため、今年度は、昨年開園した自然博物館センターを環境教育の拠点とし、

観光 誇れる郷土を

自然保護思想の高揚に努めるほか、立山地区天狗平の池塘復元事業を引き継いで進めます。

富山県は優れた自然、山海の味覚に恵まれています。この観光資源を全国に紹介、宣伝するため、来年春季には国鉄の協力を得て全国一大キャンペーンを展開することになっています。また、

県土を 災害から守る

観光地への誘導案内標識を設置し、南砺、五箇山地区の観光開発調査、城端線フラワーライン事業に協力するなど、観光客の通年化、滞留化に努めます。立山山ろく観光レクリエーション地区の整備としては、厚生年金休暇センターの誘致を含めて整備を進めます。

活力ある産業づくり

置県百年を めざして

農林水産業の 発展めざして

農業施策の基本的方向は、富山県の特質を生かしたうまい米づくりを中心に、需要に見合った農業生産の拡大を図りながら活力ある農村社会を建設し、生産性の高い農業を確立することにあります。この実現には、中核農家の育成はもちろん、兼業農家の経営合理化を集落共同の力で行う「村ぐるみ農業」を進め、低コスト経営に導くことが必要です。このため、生産施設の近代化、農地の流動化、機械の効率的利用などが効果的に行われるよう、新たに集落営農組織化事業を行います。

水田利用再編対策は、今年度も引き続き五十六年度並みの



商工業の繁栄をめざして

目標面積になっていますが、生産性の高い転作が図られるよう努力します。

生産性の向上と経営体質の強化が求められる畜産ですが、今年度から「富山の肉牛」の振興に努めてまいります。また、園芸については「特産の里」を拡充するほか、チューリップの販路拡大事業を行います。

建設を進めてきた「二十一世紀の森」ですが、この十月には

八尾町に開園が予定されていますので大いに利用していただきたいと考えています。

水産業については、引き続き「育てる漁業」を進めるほか、漁業取締船「剣山丸」新造に向けて準備を進めます。

商工業の 繁栄をめざして

中小企業が健全な成長を遂げ



エネルギー資源の開発と
利用をめざして

ることができるよう「地場産業振興対策資金」を創設するなど資金の円滑な供給を図ります。また、企業団地の無雪化などのため、新設された融資制度を活用いたします。

小規模企業に対しては「小規模事業等福祉推進事業」の新設など、きめの細かい経営改善普及事業を進めます。また、中小商業対策として、商店街の催しに対する助成制度を新設します。

富山県は、昭和五十八年

には置県百年を迎えます。

この百年に際し、私たちは先人の英知と営為のあとを回顧し、その教訓と遺産を現代に生かすとともに、富山県の第二世紀に向かって歩み続けなければなりません。

このため、昨年十一月には各界層の方々の参加を得て「置県百年記念事業推進県民会議」が設置されました。

各種記念事業の企画調査は、この県民会議を軸に進められるわけですが、今年度は「記念映画」「記念誌」「統計100年史」「業史」などの制作、編さんを行うことにしています。また、このほか、来年に予定されている記念式典、全国育樹祭、チューリップ農業祭などの準備を進めてまいります。

地場産業対策としては、地場産業振興センター建設への助成のほか、新商品の販路拡大に助成します。

農業については、先端技術である遺伝子工学の研究に取り組みほか、テレビ宣伝事業に助成します。

また、産業展示館は昭和五十八年の完成を目前に、建設促進に努めます。

技術立県を めざして

技術立県の核になるテクノポリス構想ですが、今年度は開発構想調査に取り組み、テクノポリス圏内の各地域にどのような事業を当てるのか、そのマスタープランづくりを進めます。また、「富山県技術立県基金」を設置し、産業の近代化、企業導入を図ります。

エレクトロニクス化の伸長には目覚ましいものがありますが、工業試験場内に「マイコンセンター」を開設し、その応用技術



農林水産業の発展をめざして

の中小企業への導入、普及に努めます。

また、工業技術センターは高岡市二上地区に設置することとし、国立短期高等教育機関との連携を考えながら、基本設計を行います。

なお、八尾中核工業団地は昭和五十八年の分譲開始をめざし、工業用水道など立地基盤の整備を進めます。



雇用の安定と職業訓練
の充実のために



労働福祉の増進のために

技術立県をめざして

エネルギー資源の 開発と利用めざして

産業の健全な発展にはエネルギーの効率的利用、未利用資源の開発が緊急の課題です。このため、今後とも省エネルギー巡回指導、省エネルギー機器導入に対する融資などを行います。

富山新港共同火力発電所の石炭への転換は、一日も早く着工できるよう努めます。

雇用の安定と職業 訓練の充実のために

高齢化社会が進むなかで、中

労働福祉の 増進のために

活力ある産業づくりには労働福祉を増進し、勤労者の生活の安定、向上が欠かせません。このため、労働福祉団体に対する預託額の拡充を図るほか、未組織労働者に対する融資保証枠の拡大を図ります。

また、労働福祉対策として、市町村が実施する高齢者労働能力活用事業に引き続いて助成するほか、新たに「婦人労働ハンドブック」を作成し、勤労婦人の啓発指導に努めます。

「現代日本のポスター」展開幕

4月10日～5月13日

ポスターは、現代人の生活空間に発信される多様な視覚情報のなかでも、代表的な手段であり、多様な機能を持ち、一般社会に親しまれています。さらに、ポスターは、印刷技術の向上等に伴って「現代アート」として飛躍的な発展を遂げています。

すでに、ニューヨーク近代美術館や、パリ装飾美術館など、欧米の美術館では、ポスター作品を現代美術の新しい分野とし

てコレクションに加え、その展示にも力を入れています。

現在、日本のポスターは、量的にも、質的にも世界のトップレベルにあり「ワルシャワ国際ポスター・ビエンナーレ」等の国際展でも高い評価を受けています。

しかし、国内の公立美術館でポスターの体系的収集をしているところがほとんどありません。本館では、美術品収集の分野

にデザイン部門として、国内の代表的ポスターのコレクションをはじめとしています。この「現代

日本のポスター」展は、その収集作品によって、現代人の生活意識と深くかわる日本のグラフィックデザインの動向を紹介するものです。

この展覧会には、東京オリピックの公式ポスターを制作した亀倉雄策や、資生堂のポスター

で、おなじみの中村誠、日本の大衆文化をとりこんだ横尾忠則、遊びの精神にあふれる作風の福田繁雄のほか、田中一光、永井一正など、多彩で豊かな個性ある発想をもって表現する現代のトップレベルにあるグラフィックデザイナーたちのポスターを展示します。なお、展覧会中の4月17日(土)に、勝井三雄氏の講演を予定しています。

○出品作家

- 浅葉克己 粟津 潔
- 石岡瑛子 大橋 正
- 片山利弘 勝井三雄
- 亀倉雄策 木村恒久
- 杉浦康平 田中一光
- 戸田正寿 中村 誠
- 永井一正 早川良雄
- 長友啓典+黒田征太郎(合作)
- 原 弘 福田繁雄
- 細谷 巖 山城隆一
- 横尾忠則

○入場料金

- 一般 600 円
- 高・大生 500 円
- 小・中生 250 円
- ()内は団体料金



▲粟津潔「粟津潔現代版画展」1981年

▼戸田正寿「アドニス」1978年



○休館日

月曜日
祭日の翌日

但し、5月3日(月)は開館します。

展覧会期中、

ポスター展・現代芸術祭など 今年度は7企画展を開催

県立近代美術館

富山県立近代美術館では、今年度、七つの企画展を開催することになりました。これらの展覧会は常設展示「二十世紀美術の流れ」とあわせ、また、昨年度の開館記念シリーズ展の成果をふまえて、二十世紀美術の多様な展開をそれぞれ国際・国内・郷土の視点に立って展望しようとするものです。

・第一企画

「現代日本のポスター」展

・第二企画

「五月二十日～六月二十日」

近代美術の展開に特に寄与し

たとえられる郷土作家の中から異色の水墨画家、篁牛人を取りあげ、半世紀にわたる画業を回顧します。

・第三企画

現代芸術祭

二十世紀美術の流れを日本的規模ならびに特定のテーマの下に展観する「現代芸術祭」企画の第一回展。本年度は郷土出身のシュール・レアリスム詩人・美術評論家、故滝口修造をとりあげ、氏の影響下で推移・展開した戦後美術および周辺芸術領域の断面を紹介いたします。

「現代日本のポスター」展

「五月二十日～六月二十日」

近代美術の展開に特に寄与し

日～十月二十四日

本館にも作品が常設展示されているアメリカの現代彫刻家ジョージ・シーガルの代表作品を集め、現代アメリカ美術の一端を紹介いたします。

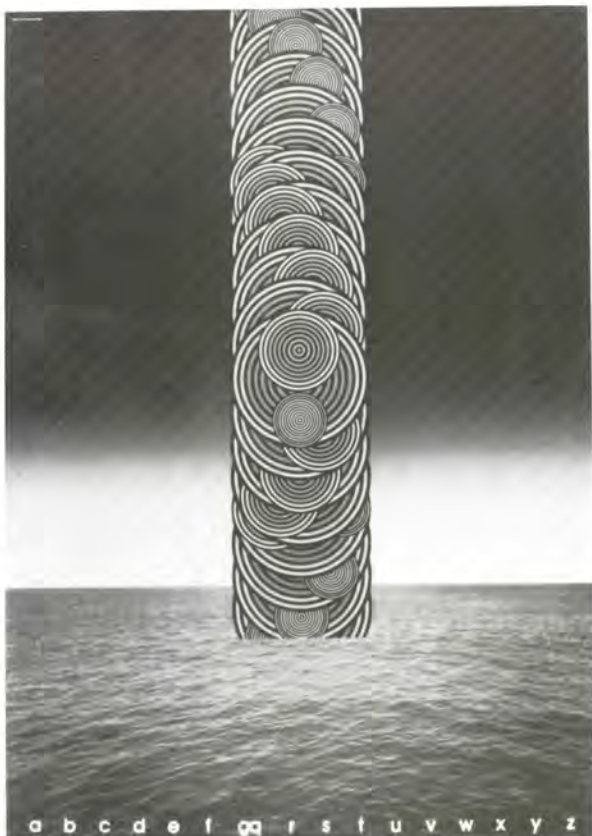
・第四企画

ジョージ・シーガル展

「現代日本のポスター」展

「十一月三日～十二月十五日」

日本現代美術の動向を継続的に紹介する展覧会の第二回企画として油画部門(アクリル等を



▶永井一正「gg」一九七四年

・第五企画

「わたしたちの壁画83」展

(一月五日～一月三十日)

「わたしたちの壁画」展の第二回展。県内の小・中学生が共同制作で大画面に描いた作品を集めて展示し、児童・生徒の創造意欲にこたえ、情操教育の向

・第六企画

「美との対話、83——収蔵作品から」展

(二月六日～三月二十七日)

本館収蔵美術作品のうち、日頃展示公開できない作品を選定して公開します。

昭和五十八年、富山県は置県百年を迎えます。明治十六年五月九日に誕生して以来、今日に至る富山県の発展ぶりには目をみはるものがあります。この一世紀に及ぶ流れの中には分県運動、米騒動そして二度に及ぶ大戦な

ど富山県の大転機となった事件があるわけですが、置県百年を迎えるに先立ち、これら事件の知られざる面、エピソードを十二回にわたって紹介し、先人たちの活躍の跡を訪ねてみようと思えます。

分県饅頭利目あり

明治十六年五月十七日付東京の朝野新聞に「分県饅頭利目あり」の見出しで次の記事がある。「此度政府にては石川縣より越中一國を割き富山縣を置かれたるが、先年新川縣を廃せられしより同國新川縣婦負兩郡の人民は、これを不便利なりとして分縣を冀望（きぼう）し、福井、鳥取、徳島の三縣を置かれし後は、其の冀望い

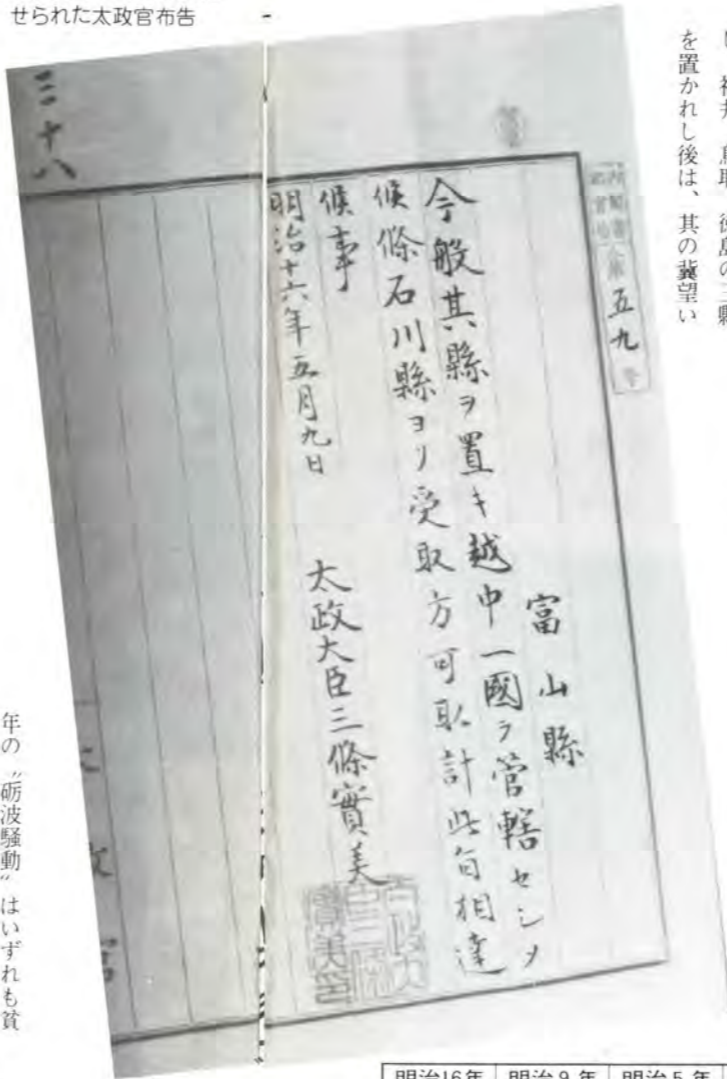
よいよ烈（はげ）しく請願書又は建白書を其筋へ出し、又陳情委員を上京せしめて其筋へ歎願するに至り、ある菓子屋は製するところの饅頭を分県饅頭とひさぎしに、通例の饅頭より買う者多かりとのことなれば今度分縣に就ては其喜び知るべし。……」

この記事にある饅頭はどんな形をしていたのかは、今日知る由もないが、当時の県民の喜び振りが伝わってくる。明治政府が当初から最も力を注いでいたのは、旧藩体制を打破して地方を完全に官治することであった。そのため、廃藩置県のとぎ三府三百二県を置いたもの、その後分離統合を重ね、明治十五年までには三府四十一県に整理していた。しかし、十年代は自由民権運動の高揚期であり、自然県域を一つの固まりとする地方自治の意識が各地で分県運動を展開させていた。二十に近い希望の中で十六年に佐賀、宮崎と本県の三県のみが置かれることとなった。

とやま「あの日あるとき」

富山県の転機を探る①

明治16年5月9日に発せられた太政官布告



明治16年5月9日	明治9年4月18日	明治5年9月27日	明治4年11月20日	明治4年7月14日	明治2年6月17日	寛永16年6月20日		
石川県		石川県	金沢県	金沢県	金沢藩	大聖寺藩	加賀国	国
			七尾県	金沢藩	加賀藩		能登国	
	石川県			富山県	富山藩	富山藩	射水郡	越中国
富山県		新川県	新川県				砺波郡	
							新川郡	
							婦負郡	

富山県となるまで

五月九日の確信

「富山、佐賀、宮崎ノ三県ヲ置く」の太政官布告が発せられたからといってこの日から富山県が始ったわけではなかった。この布告は便宜上の布告であるとして同日太政官から元老院（立法院）の審議に付託され、やがて上奏勅許を得たのが五月十六日である。そして正式の開庁日となつたのは三県とも七月一日である。今日の感覚からすれば或いはこの七月一日が富山県の発足日ということになるかもしれない。しかし、誰しも五月九日を置県日と確信し、今日までこの日を置県日として祝つてきているのには理由がある。それはまさしく先人の分県、独立運動の精神に回帰せんがためにほかならない。すなわち、越中国が一つにまとまることなしに

は子孫の栄光はありえないとした先覚者の心を学ぼうとするためである。そして太政官（政府）

自然は美しく、人は貧しく

越中側の分県の史的経過や、先覚者たちのこの運動に傾けた労苦に關しての研究成果は、「富山県史（近代上）」にまとめられ、詳述されてあるのでここでは触れない。ただその動機の一つを考えてみたい。

明治前期の越中は極端に貧しかった。明治二年東部を中心起こった「ばんどり騒動」、十

年の「砺波騒動」はいずれも貧しさの中に起こつたものである。そしてこの貧しさは、皮肉にも美しい越中の自然がもたらす場合が多かつた。すなわち類（たぐい）なく美しい越中連山が生み出す水が、一挙に野を駆け抜け、海にわたるとき、豊稔の地が一瞬のうちに礫（せきれき）の野と化したからである。

ために明治の先人は、日々水と闘い、水を治めなければならなかつた。道路工事を専一とする石川県政の下では、この水との闘いには限度があつたのである。

「越中国人民ノ幸福安寧ヲ求ムルハ唯分縣ノ一事アルノミ」と、先達をして越中百年の計をなしためたのは、まさにこの水との闘いのためであつた。今日、越中は美しい自然と豊かな人びとでみちている。私はこの安寧の始点は、明治十六年五月九日にあると確信している。ちなみにその後の分県は、明治二十年の奈良（大阪から）、明治二十一年の香川（愛媛から）の両県をもって終止符が打たれた。（富山近代史研究会 高井 進）



分県の功労者 米沢紋三郎、当時の岩倉石大臣 山田内務卿らを歴訪して分県を陳情した（米沢紋三郎翁遺跡保存会蔵）

独立の気迫、越中を一つに

富山県の誕生、五月九日

観どころ味まん

第13回 井波町



井波彫刻の起りをなす瑞泉寺

砺波平野の南端に連なる八乙女連山。その山ろくに位置する井波町は、瑞泉寺の門前町として発展しました。また、彫刻でその名をはせている井波町は、伝統芸術の香りが町のすみずみに漂っています。

井波別院瑞泉寺

明徳元年（一三九〇年）、浄土真宗本願寺五代の綽如（しゃくによ）によって建立された

瑞泉寺は、一向一揆の拠点となったことで有名です。

莊園領主にしいたげられた農民たちに、団結してたたかうことを教えたのが浄土真宗本願寺派、つまり一向宗であったところから「一向一揆」と呼ばれたわけですが、当時、百七十の寺を支配し、戦国武将から法灯を守った面影は、今でも残っています。

八乙女山を背に、歴史の重みと文化の深さを秘めた静かなたたずまいは、訪れる人の心をとらえてはなさないでしょう。

井波の木彫

約三百人の彫物師たちがその技を競う井波町は、伝統的な木彫のまちです。二百丁余りののみを巧みに使い分け、厚さ六く九の板から雲間に飛ぶ鶴、風にさざめく竹、つぼみがほころぶ梅の枝などが精巧に、そして力強く彫り上げられます。名工の誉れ高い井波の彫物師たちの技といえるでしょう。

名工の誉れ高い井波の彫物師



21世紀のとやまをテーマに

きょうは「家庭の日」(第三日 曜日)、Aさんのお宅では、お父さんも好きなゴルフをひかえて、

“ふるさと”ってなに？

父 まず、お父さんからひとつ、みんなに質問しようと思う。みんなにとって“ふるさと”って何だろうか。

長男 ボクにとっては「生まれ育ったところ」ぐらいの意味しかないかな。特に深く考えたこともなかった。考える機会もなかったしね。

長女 ワタシはちがうわ。ほら、お父さんの母校が甲子園に出たとき、富山県の代表ということで一生けんめい応援したもん。お兄ちゃんも覚えているでしょ。言葉ではうまく言えないけど、あのときの気持がワタシにとってのふるさとだったと思うの。父 なるほどね。お父さんはど

久しぶりに家族一同が茶の間にそろいました。

フツとその大きさに思い当たったりする。言ってみればお母さんみたいなもの——それがふるさとでないかと思う。

母 でも、ふるさとってというのは、みんなが育つ母体でもあるし、同時に、みんなが育てていかなければいけない面もあるわね。

前すぎてふだんは気がつかないんだけど、何かのひょうしに

父 そう。きょうは、そのお母さんみたいなふるさとについて、

来春ボクは受験だけど

長男 ボクは来春受験だから、

やっぱり大学のことが気になる。

できれば地元で大学に行きたいけれど数も少ないし、志望校がだめだったらよそへ行かざるを得ないんだよね。父 うん、そのことについては以前から各方面で声があがっていたようだね。最近、高岡市に

○A家の家族構成

祖父(六十三歳) 祖母(六十一歳)
父(四十歳) 母(三十八歳)
長男(十七歳) 長女(十二歳)



特色ある国立の短期大学をつくる話が進められているし、将来は四年制の公立大学が設置される可能性もあると思う。ただ、地元として、これから先どんな大学が必要なのかはつきりしないと実現しにくいかもしれない。長男 どうせつくるなら、日本じゅうから学生が集まってくるような魅力ある大学にしたいな。母 東京の大学へ行きたいって言ってたけど、ちゃんと志望は決めたの？

長男 うん、まだ迷ってるんだけど、一度、富山を離れて、ふるさとを見つめてみたい気もあるんだ。

九十人、短大八百十五人の計 二千二百五人

お父さんの出張には新幹線が必要

長男 それから、もう一歩先を

考える、就職も心配になってくるんだ。地元で希望の仕事が

だし、大丈夫さ。ほら、テクノなんてかって言ったっけ。父 「テクノプリフェクチャー」つまり技術立県をめざそうというわけさ。先端技術産業を拡大

長男 これからは地方の時代っていわれているしね。新幹線ができたから、新しい都市の顔もつられていくだろうし。父 そうだね。いま、地方の中

したり、県外からも誘致したりする。その核になるのが「テクノポリス」構想で、今後、ますますクローズアップされてくると思う。それと、仕事の変化といえは、テクノがものすごく速くなっているね。北陸新幹線や空港の整備は、どうしても必要になってくると思う。

〔既在大学の現状〕

・大学、短大進学者は、五十六年度で五千八百四十一人、そのうち県内進学者は二千三百八十一人で二三・六％、県外進学者は四千四百六十人で七六・四％

・県内には四年制大学二校、短大四校が設置されており、入学定員は四年制大学二千三百

きょうは家族会議

〔注〕本文中「父」の発言内容は、富山県の総合計画策定のための各研究会の報告書に基づいてまとめられています。各発言文の後に補足された事項は、同じ報告書からの抜粋です。

核都市を中心にした都市群に、大きな期待が寄せられているんだ。特に、日本海沿岸地域の中心に位置する富山県は有望らしい。

祖父 高速交通網が大切なことはわかるけど、富山県がもって

いる豊かな自然環境とか、風土を生かした都市づくりも考えたいね。

〔先端技術産業の育成に関する報告から〕
・民間、大学などの研究員との



▲県民待望の北陸新幹線はルートや駅が発表され着工に向けて1歩1歩前進している(合成写真)

共同基礎研究を進めるための先端技術センターの設置
・研究開発助成制度の拡充と、経営面での支援や技術者に対

する経営者教育

・情報機関の整備、学会や研究会などによる人的交流の促進

気持は若い者には負けないけど

長女 とところで、おばあちゃん。今度テニスを始めるんだってね。

▼手軽にスポーツに親しめるようにと 昨年オープンした県営軟式庭球場



ワタシ、相手しようか。

祖母 いいですとも。こう見えたって女学校時代はテニス部の選手だったんですからね。……なんて強がりも言っても、最近ちよつと「年かな」と思うことがあったりしてね。実は、健康づくりと若返りが目的なの。

父 無理をして「年寄りの冷や水」なんて言われないようにしないとね。スポーツは、その年代や体力にふさわしい内容でやるのが、いちばんの健康法だからね。

祖父 おばあさんが若い気なら私だってまだまだ若い者には負けないぞ。ただ、定年退職してからの今の職場で、いつまで働かせてもらえるか……。まあ、再就職さえ思うようにならない友人もいるんだから、あまりぜいたくは言えないけれど。

母 そうね。この問題は、私たちの年代にとっても、将来もつと深刻になりそうね。

父 何しろ、これからは高齢人口の比率が高くなる一方だし、その中でも地方は、都会に比べ

て高齢者の割合が多いらしいから。単に生計の維持というだけではなくて、社会の一員として

お年寄りには、いつまでも元気に活躍してもらいたいと思うな。

〔スポーツ活動に関する県政世論調査から〕

・運動やスポーツをやっている人人は、二十歳以上の県民の四九・三％は。

・地域におけるスポーツクラブや、その加入者も増加の傾向にあるが、気軽に活動できる組織の拡大と連携が必要
・身近なところで気軽に利用できるテニスコートや野球のできる広場が不足

〔福祉対策に関する報告から〕

・老人の就労の促進にあたっては、公共職業安定所やシルバー人材センターが職業紹介をしているが、福祉施策の面で高齢者生きがい対策の充実も必要
・就労への志向は、生活のためということよりも健康の維持、生きがいの確保へと変化しつ

雪を楽しむ生活ができないかしら

母 これも深刻になりそうだけど、雪の問題も大きいわよ。こ

つあり、今後、老人のもつ技能、知識、経験を生かした適

職への就労に、きめの細かい情報提供が必要



▲降り積った雪をさっそく利用、研究に余念がない子供たち

れをスキにしては富山県の未来も、発展も考えられないと思うの。

祖母 たしかに、去年の豪雪のときは、毎日が重労働の連続だったけど、三十八年の豪雪のときと比べればよくなったと思うよ。あのときは野菜や果物の値段がずいぶん上がったもの。

父 最近では、雪対策もずいぶん

〔総合雪対策の報告から〕

・積雪地帯の特色を積極的に生かし、魅力ある都市づくりや産業活動を促す施策が必要
・現代の雪対策は、将来の社会の姿にも十分に対応できるよ

味や祭りを利用して もっと富山をPR

長男 雪の利用もだけど、富山県って観光PRのやり方があまり上手じゃないみたい。金沢なんかだと、きちんとイメージをつくりあげて、うまく宣伝しているんだよね。

祖母 富山県にだって、よそに負けない、いいところはたくさん

進んできてはいるけどね。まあ、雪による被害を受けない対策が必要なのは当然として、雪を楽しむ生活ができるようなアイデアも考えていきたいな。

長男 北海道の雪まつりのように、雪を利用した祭典をもつと県内でやったらいいし、スキーなんかを盛んにするのもいいんじゃないの。

うに計画されるべきで、主に交通や情報・エネルギーなどの安定確保が必要
・一人暮らし老人など、雪おろしに困る世帯に町内会や青年団などが協力するしくみが必要

父 それはグッドアイデアだ。観光に力を入れるということは、みんなが「すばらしい富山県へいらっしやい」と言えるような



農業試験場に隣接して建設される「食品加工研究所」

農林水産物の高付加価値化へ 食品加工研究所を着工

この研究は、食品の加工、流通技術を研究、開発し、農林水産物の付加価値を高め、地場食品産業の技術水準の向上を目指す。昭和五十八年夏に完成する予定です。

このほか、サービス業務として食品に関する講演会、研修会、加工実習なども計画しています。

農林水産物は、これを加工して価値の高い製品として出荷すれば、農林水産業者の所得向上になるばかりか、県の経済発展にもつながります。

これら生産物の加工は、これまで食品業界が主に行ってきたのですが、最近では生産者が自ら加工しようという意欲が高まってきています。食品の加工流通技術の高度化、複雑化には目をみはるものがある。規模の小さい本県の食品業界の力だけでは対応しきれないのが実情です。

このようなかで建設が進められている食品加工研究所は、食品の加工、流通技術を研究開発し、生産者や地場食品産業の技術指導を行うものです。

食品加工研究所の使命は、農林水産物の付加価値を高め、地場食品産業の技術水準を向上させることです。

業務には大きく分けて技術の開発研究、原料や製品の分析検定、技術の指導や相談、情報の提供などとなります。

開発研究の対象となる食品は多種多様ですが、原料からみますと米、麦、大豆、特定の果実と野菜、畜肉、多獲性魚が、また製品としてはめん類、パンや菓子類、発酵食品、つげ物類、飲料、缶詰、酒類などがあげられますが、特に、特産品を原料とするユニークな新製品の開発をめざしています。

分析検定は、主に企業の製品の品質向上を目的とするもので、栄養や安全性も含めて信頼される製品づくりに役立てようとするものです。



風かざる散居の里のチューリップ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

富山県 砺波市・砺波市観光協会

▲富山の味覚・伝統行事を県外に広くPRしようとして作成した「味のカレンダー」

父 生活水準で言うと、富山県は全国でもかなり高いレベルにあるんだから、今度はモノ中心の生活から、モノと心の調和した豊かなような考えへ切り換えることも大切になってくるよ。

長女 富山県にはすてきな美術館ができたけど、面白い博物館は少ないわね。

父 まず、身辺にある地域の文化遺産を、ふるさとの文化づくりに生かしていかなくちゃね。

祖父 そうそう、去年、県で行った「県民の知恵募集」の中にも「郷土博物館の建設」という内容の提案がいくつかあったはずだ。

父 さて、話の方はまだまだつきないようだけれど、きょうはこのくらいにしておこうか。テーマはたくさんあったけれど、どれも二十一世紀の富山県を考えるとという点では共通しているし、関連づけて考えられるものも多いと思う。きょうは結論を出せなくても、この次は話したことを、もっと掘り下げて

話し合ってみよう。

〔風土と伝統を生かした文化のふるさとづくりへの提案〕

- ・優れた演劇、舞踊、音楽などを観賞できる大ホールの建設
- ・国際的・全国的規模の美術館や音楽会、演芸祭などの開催
- ・民俗行事・生活技術の老人から青少年への継承。

地域の特性を生かした美しい街並みづくりや、ふれあいと語らいの広場づくりなど、風土と調和し、美観に配慮した都市計画を。

富山県の芸術文化の殿堂 富山県立近代美術館



モノと心の調和した 豊かさが大切だね

祖父 富山県の歴史とか風土をながめてみると、どうもこれまでは保守的な色合いが強かった

父 ような気がする。「新しい文化を」なんて盛んに言われているけど、その辺から変わる必要があるん

・観光客数は、近年横ばい状態
そのうち宿泊客は二五％、県外客は二九％と低い。宣伝活動の充実と受入体制の整備が必要

・冬期間の観光客は少なく、季節による変動も大きい。雪を生かした冬期観光の整備も必要

状況をつくることだし、そういう誇り高いふるさとづくりを進める上でも力を入れるべきなんだ。これからは、ますます余暇時間が増えてくるし、もっと幅広い観光レジャーについても考えていかなくちゃね。

じゃないかなあ。

父 生活水準で言うと、富山県は全国でもかなり高いレベルにあるんだから、今度はモノ中心の生活から、モノと心の調和した豊かなような考えへ切り換えることも大切になってくるよ。

長女 富山県にはすてきな美術館ができたけど、面白い博物館は少ないわね。

父 まず、身辺にある地域の文化遺産を、ふるさとの文化づくりに生かしていかなくちゃね。

祖父 そうそう、去年、県で行った「県民の知恵募集」の中にも「郷土博物館の建設」という内容の提案がいくつかあったはずだ。

父 さて、話の方はまだまだつきないようだけれど、きょうはこのくらいにしておこうか。テーマはたくさんあったけれど、どれも二十一世紀の富山県を考えるとという点では共通しているし、関連づけて考えられるものも多いと思う。きょうは結論を出せなくても、この次は話したことを、もっと掘り下げて

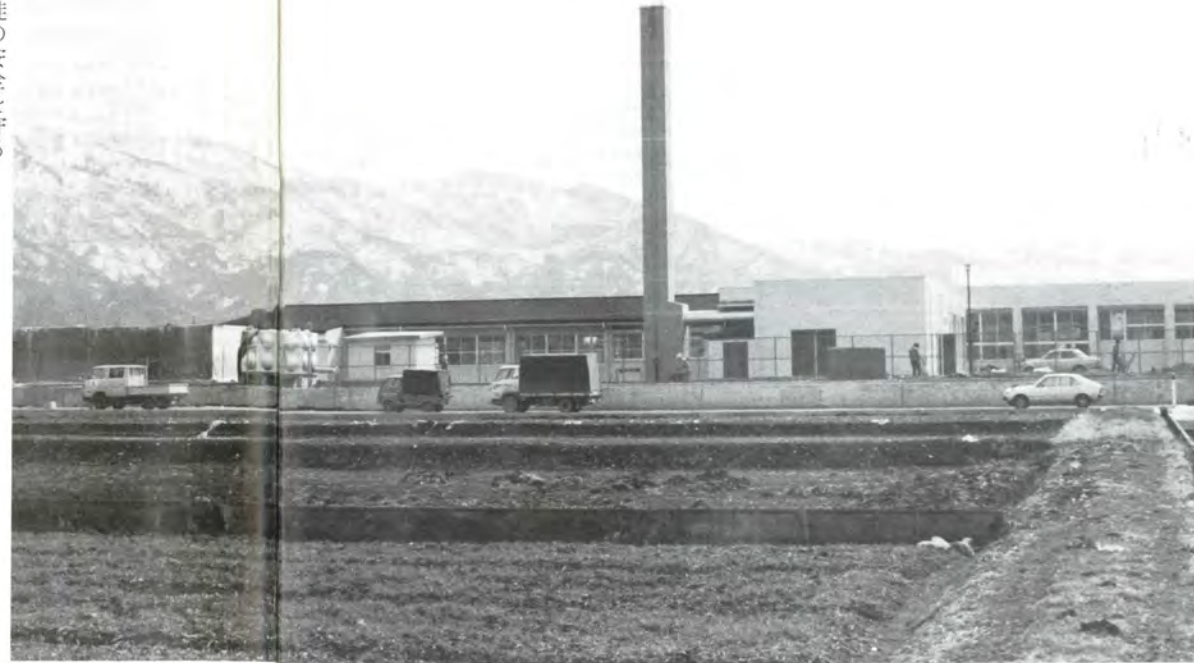
県立「となみ養護学校」が開校

建設を進めてきた「富山県立となみ養護学校」が開校しました。

この学校は精神薄弱児を教育する養護学校で、高岡養護学校砺波分教室を核にして本校として独立したものです。これによって、県

内の養護学校は本校六校、分校三校となり、現在、新川地区に建設を進めている精神薄弱児向けの養護学校が完成すると、県下四地区（富山、新川、高岡、砺波）に独立校の設置が実現することになります。

豊かな自然静かな環境に恵まれた「となみ養護学校」



「となみ養護学校」が開校したのは福光町利波河(とのり)の国立療養所北陸病院の敷地内で、豊かな自然と静かな環境に恵まれています。教室棟、管理棟、食堂棟からなる建物は延床面積千九百六十三平方メートルの鉄筋コンクリート造り。このうち教室棟と食堂棟には、児童生徒が自由に遊び学習できるゆとり空間

自然採光用の天窗が備えられた教室棟



(ブレイルーム)を設けました。この教室とブレイルームとの間仕切りは動かすことができ、広く使用できるようにしてあります。自然採光で明るい教室には、テラスが設けてあり、中庭は日当たりがよく日光浴をしたり、自由な遊び場として利用できるようになっています。

福光町「北陸病院」敷地内に

また、児童生徒の安全を守るため通学用バスも配置されています。

以上がすでに完成した施設の概要ですが、今後は体育館の建設を、さらに児童生徒の増加傾向を見ながら校舎の増築を進めるなど施設の整備について十分配慮していく計画です。

なお「となみ養護学校」の教育は通学、病院、在宅の三つの形式に分かれていて、対象になる児童生徒は次のとおりです。

○通学／精神発達の遅れの程度が中程度以上または軽度のもののうち社会的適応が特に乏しい児童で、砺波地区内の市町村に在住している通学可能な学齢児。

○病院／国立療養所北陸病院に入院している学齢児。

○在宅／砺波地区内の市町村の在住者で、通学が困難なため在宅している学齢児。



ブレイルームと教室(右)の間仕切りは可動式 とりはずすと広い空間が得られる

案内図



施設の概要

- 敷地面積
約 21,000 m²
- 校舎
 - ・鉄筋コンクリート造り平屋建
 - ・建築延床面積 1,962 m²
- 所在地
福光町利波河1335の2



明るさと清潔さを追求した食堂棟



象とならないということでした。製造メーカーでは、①この三

し行った。②自社製品で消費者

が怪我をしたこと、③ハンドル

認定製品の種類

A 乳幼児製品……16品目

- ◎乳母車 ◎歩行器 ◎ぶらんこ ◎すべり台 ◎幼児用鉄棒 ◎幼児用三輪車 ◎足踏式自動車 ◎乳児用ハイチェア ◎パイプ式子守具 ◎子守帯 ◎乳幼児用ベッド ◎乳幼児用移動防止さく ◎綿棒 ◎こいのぼり用繰り出し式ボール ◎こいのぼり用矢車 ◎一人乗りぶらんこ

B 家具・家庭・厨房用品……18品目

- ◎家庭用圧力なべ及び圧力がま ◎上のせてんぴ ◎油こし器 ◎家庭用氷かき器 ◎かん切り ◎金属板製なべ ◎アルミニウム板製なべ ◎二段ベッド ◎住宅用スプリングマットレス ◎折り畳み式サマーベッド ◎プラスチック浴そうふた ◎ショッピングカート ◎ゆたんぼ ◎トイレットペーパーホルダー ◎住宅用アルミニウム合金製脚立 ◎住宅用アルミニウム合金製はしご ◎学童用かさ ◎郵便受箱

C スポーツ・レジャー用品……11品目

- ◎野球用ヘルメット(硬式野球用のもの) ◎金属製バット ◎ローラスケート ◎登山用ロープ(身体確保用のもの) ◎ビーチパラソル ◎水中マスク ◎水中フィン ◎エキスパンダ ◎ゴルフ練習用ネット ◎園芸用花台 ◎手動式芝刈機

D その他……7品目

- ◎炭酸飲料を充てんするためのガラスびん(400ml以上のもの) ◎炭酸飲料びん詰(400ml以上のもの) ◎乗車用ヘルメット(自動二輪車乗車用のもの) ◎自動車用ウインドシールドウォッシュ液 ◎自動車用携行ジャッキ ◎携帯用簡易ガスライター ◎自転車

この事例は、賠償の対象になりませんが、消費者も小さな子供には、安全な場所を選んで遊ばせてやる心がけが大切です。

この事例は、賠償の対象になりませんが、消費者も小さな子供には、安全な場所を選んで遊ばせてやる心がけが大切です。



SGマークとは

SG(エスジー)マークは、安全協会がつけています。製品安全協会では、製品の安全性を確保するために認定基準を設けており、これに合格したものにマークを付けています。

このマークは、消費生活用製品安全法に基づいて、製品

安全協会がつけています。製品安全協会では、製品の安全性を確保するために認定基準を設けており、これに合格したものにマークを付けています。

SGマーク付製品の欠陥により、万一事故が起きた場合は、二千万円を限度とする賠償制度があります。

暖い日が続くようになり、子供達も戸外で遊ぶ機会が多くなりました。普段なにげなく使っている遊具も、思わぬところに危険がひそんでいたりと、使い方によっては、事故につながることもあります。

東京の国民生活センターが、全国の消費生活センターから集めた危害情報によると、15歳以下の子供の危害は、玩具24.7%、子供用乗り物9.6%と、両者で危害商品の34.3%を占めています。

安全な商品を購入するよう心がけるとともに、使う場合は十分な配慮が心要です。

こちら
消費生活センターへです。

相談
☎(0764)32-9233(高山)
☎(0766)25-2777(高岡)
☎(0764)41-0999による、消費生活情報の提供

シリーズ ⑬

相談事例

三輪車がひっくりかえってケガ

一歳八カ月の子供が、玄関先の廊下で三輪車に乗ったり、降りたりして遊んでいましたが、乗ろうとしたときにひっくりかえり、十五分ほど下の玄関のたきへ落ちてしまいました。

この時、ハンドルの持手部分の滑り止めの突起物で、左まゆの上を切り、五針ほど縫いました。この三輪車には、SGマークが付いていますが、賠償の対象になるでしょうか。

回答

SGマークの認定基準に基づくテストなど、三輪車に問題はなかったかを調べてみました。その結果、認定基準による構造、外観及び寸法、安定性、滑り抵抗、走行性、付属品についてすべて問題はありませんでした。しかし、認定基準に規定されて

が怪我をしたこと、③ハンドル操だ角のずれは、三輪車の安定性に影響を与えるものではないが、組み立てに問題があったために生じたものであり、当センターから左右の安定バランスを欠くことは、転倒性に無関係とはいえないのではないかとこの指摘があったこと等の理由により、申出者に代替三輪車を渡しました。

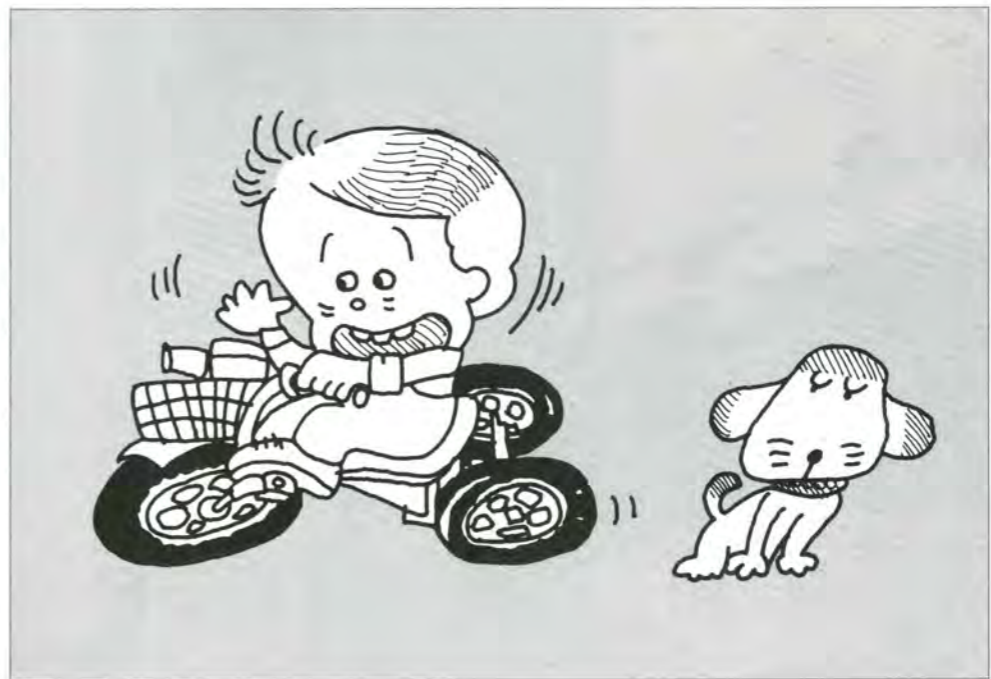
この事例は、賠償の対象になりませんが、消費者も小さな子供には、安全な場所を選んで遊ばせてやる心がけが大切です。

この事例は、賠償の対象になりませんが、消費者も小さな子供には、安全な場所を選んで遊ばせてやる心がけが大切です。

このハンドルの操だ角の違いがありました。このハンドルの操だ角の違いは、中心より左に三十五度、右に三十度と約五度の違いがありました。

このハンドルの操だ角の違いと転倒条件との関係をテストしたところハンドルを左右いっぱい切り、垂直な引つ張り荷重を加えた場合、対角後車輪の浮き上がりは、左ハンドルで五・三度、右ハンドルで二・五度でした。このことは、右側から三輪車に乗ろうと、ハンドルグリップに手をかけた場合の転倒性は、左に比べて大きいといえます。

以上のことから、製品安全協会に調査を依頼したところ、テスト結果は、当センターと同様でしたが、ハンドルの操だ角のずれと、転倒との因果関係はないとの判断から、「車体の安全性を損うものではない」という回答が寄せられました。すなわち、製品には問題はなく、賠償の対



2月16日～3月15日

2月23日

工場等経営基本問題会議を開く

県内主要企業の社長、工場長から経営上の緒問題や県への要望を聞き、今後の行政に反映させようと「工場等経営基本問題会議」が富山市で開かれ、県から中沖知事をはじめ関係部長らが、また、企業側からは繊維、化学、電気など19社が出席しました。席上、先端技術の利用や共同開発、共同火力の石炭転換、工業技術センターの建設などについて活発な意見交換が行われました。

2月27日～

2月定例県議会を開会

富山県の昭和57年度予算案などを審議する2月定例富山県議会が開会し、会期を3月20日までの22日間と決めたあと、中沖知事が予算案など54の案件を一括上程し、提案理由の説明を行いました。

2月27日

奨励品種に「富山16号」

富山県水稲奨励品種決定審査会(会長委員・西本県農業水産部長)が開かれ、新奨励品種としてうるち米に「富山16号」、もち米に「富交糯(ふこうもち)」を決めました。富山16号はコシヒカリを母に人工交配を重ねたもので、倒れにくいというえにイモチ病にも強く、味の点でも粘りがある優れているもので、また、滋賀羽二重糯と富山早生を合わせた富交糯84は、もち米の奨励品種こがねもち、新大正糯よりも作りやすいとされています。

3月2日

取水量は毎秒75.39トんに黒部川水利権で合意

宇奈月町愛本の黒部川合口から取水する農業用水の水利権について、県と黒部川沿岸土地改良区連合(荻野幸作理事長)は、取水量を毎秒、75.39トんにすることで合意し、この日県庁で確認書を取り交わしました。



黒部川水利権で県と土地改良区連合が合意



2月定例県議会で提案理由説明を述べる中沖知事

3月6日

旋回式可動橋が完成(世界初) 黒部漁港生地中橋

黒部市生地の黒部漁港入り口の水路にかかる「生地中橋」が完成し、この日渡橋式が行われました。この橋は「旋回式可動橋」と呼ばれる世界初のもので、ボタン操作によって長さ38.4m、重さ307トンの橋が78度旋回し、船を通すことになっています。この日の式典には栗山副知事、荻野黒部市長らが出席し、テープカットのあと約2千人が見守るなか渡り初めを行い、完成を祝いました。



ボタン操作ひとつで橋が旋回 漁船を通過させる

4月の街頭献血日程

月日曜	場所	時間	月日曜	場所	時間
4/1(木)	氷見市民会館前	10:00～15:30	4/13(火)	福光町健康増進センター前	10:00～15:30
3(土)	富山駅前	10:00～16:00	17(土)	富山駅前	10:00～16:00
3(土)	高岡駅前	10:00～15:30	17(土)	魚津サンプラザ前	10:00～15:30
5(月)	滑川市役所前	10:00～15:30	22(木)	新湊市役所前	10:00～15:30
8(木)	入善町役場前	10:00～15:30	24(土)	富山駅前	10:00～16:00
10(土)	富山駅前	10:00～16:00	24(土)	高岡駅前	10:00～15:30
10(土)	高岡駅前	10:00～15:30	25(日)	高岡駅前	10:00～15:30
11(日)	富山西武前	10:00～16:00	25(日)	黒部市民会館前	10:00～15:30

3月10日

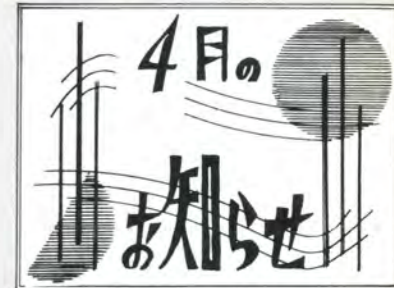
富山空港ターミナル会社設立へ発起人会開く

昭和58年度末に開港が予定されている富山空港のターミナルビルの建設及び運営を行う「富山空港ターミナル会社」の設立発起人会が開かれました。この会社は県と市町村、民間企業で構成されるいわゆる“第三セクター”で設立するものです。この日の会合には中沖知事をはじめ堀高岡市長、馬瀬富山商工会議所会頭など各代表が出席、資本金6億円とし、業務内容としては貸室、飲食物や土産品の販売、レンタカー業などを営むことを決定しました。なお、設立総会は今年20日に開くことになっています。

3月12日～13日

県立高校、一斉に入試

富山県立高校全日制(40校2分校)の入学試験が行われ、受験生たちは12日に国語、理科、社会、13日に数学、英語の合わせて5つの試験科目に取り組みました。この日受験したのは1万2,167人で総募集定員1万045人に対する平均倍率は1.23倍で、昨年の1.25倍と比べわずかながら広き門となっています。



- 労働保険料の申告・納付案内
事業主のみなさん、労働保険の56年度確定保険料と57年度概算保険料の申告・納付は、5月15日までとなっています。手続きは、銀行または郵便局でお早めにごと。
- 健康増進センター臨床検査技師・放射線技師募集
試験日/4月24日(土) 午前10時
場所/富山県健康増進センター(富山市蛸川373)
採用予定人員/臨床検査技師・若干名
放射線技師・1名
願書受付期間/4月10日～20日
問合せ/(財)富山県健康増進事業団総務課 ☎富山29-7575
- 昭和57年度前期技能検定の案内
職種/造園、鑄造、金属熱処理、機械加工、放電加工、金属プレス加工、鉄工、板金、アルミニウム陽極酸化処理、仕上げ、工具研削、製材のこ目立て、ダイカスト、電気機器組み立てなど43職種
受検申請書の受け付け/4月15日(木)～26日(月)
提出先/富山県職業能力開発協会 富山市新富町2丁目4の22商工会館ビル5階
問合せ/富山県職業訓練課 ☎富山31-4111 富山県職業能力開発協会 ☎富山32-9883
- 第12回富山県青年海外派遣団員募集

応募先	募集期間	負担額	団員数	派遣期間	派遣時期	訪問国	区分
各市町村青少年担当課	四月一日～三十日	約十万円	身体障害者約十人	二十日～二十一日間	九月下旬	中華人民共和国	一般部門
		約十三万五千円	高校生、短大生四人	二十一日間	十月中旬	アメリカ、カナダ	農業部門

「ひとりひとりが交通安全」
春の全国交通安全運動4月6日～15日



作業室には足の踏み場もないほど発掘物が収められている

明日を拓く人づくり

シリーズ 県有施設紹介①

富山県埋蔵文化財センター
 富山市茶屋町206-3 ☎富山(34)2804

埋蔵文化財は、土中や海、湖底などに埋もれたり沈んだりしている遺物や、生活のあとをいいます。
 富山県内で埋蔵文化財を包蔵する土地は、現在までおよそ千七百カ所を数えますが、産業、観光などの土地開発によって、調査と保護の対策が強く望ま

るようになりました。

埋蔵文化財センターは、この埋蔵文化財の調査と整理、保存と研究のため県立としては全国で初めて設置されたもので、次

の仕事をしています。
 ○ 埋蔵文化財の保存・整理
 ○ 調査研究に必要な資料の収集
 ○ 埋蔵文化財関係職員や考古学に関心の



慎重な接合で原形が復元されてくる

○ 埋蔵文化財
 深い方々の相談に応じたり研修を行ったりしています。
 ☆ センターの効果的利用で、埋蔵文化財の保護と活用を図り、学習や知的創造の源としていた

埋蔵文化財の調査・保護に活躍する埋蔵文化財センター



みなさんと県庁とのパイプ役

イメージアップをはかる県広報

広報課では、みなさんと県庁とを結ぶ大切なパイプ役として、この「県広報とやま」のほか、テレビ、新聞などの媒体を活用して、

県の施策の紹介や、暮らしに欠かせない情報を提供しておりますが、今年度は次のとおり計画しています。

テレビ広報

KNB

県民に向かって開かれた県政の諸施策等について、県民のみなさんに十分知っていただくための番組です。ベテラン稲垣健次アナを司会として、親しみやすく構成します。

なお各週ごとの具体的内容は次のとおり予定しています。

- 第1週 県政上の諸問題を紹介。
- 第2週 県有施設の紹介(新シリーズ)。
- 第3週 県の主要プロジェクト紹介(4月~9月)。
- 第4週 知事と語る(又は知事に聞く)。
- 第5週 本県出身者の登場

富山テレビ

県内各地の明るい話題や郷土の自然、産業、文化、県民の活動などを紹介し、郷土のよさを見直そうという番組です。

話題をメインに各ミニコーナーでつなぎ、バラエティに富んでいて家族みんなで楽しめます。逢地真理子アナを司会として、話題を新しい面から切り拓くため男性レポーター3名を起用しています。
 小泉哲也 (プロスキーヤー)
 金木 静 (作家)
 飯田敏雄 (福光東部小校長)

新聞広報

みんなの県政

毎月最終土曜日に北日本、富山、読売、北陸中日の4紙に各頁で掲載しています。このうち、4回は、見開き2ページを使って掲載します。

県からのお知らせ

朝日、毎日には毎月第2、最終土曜日に、北日本、富山、読売、北陸中日は第2土曜日に掲載しています。

県民相談室

県政についてのご相談は県民相談室へ

県民相談室	富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎富山31-4111(代) 31-3131(県民電話・直通)
高岡地方県民相談室	高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎高岡21-9411
魚津地方県民相談室	魚津新宿10-7(総合庁舎内) ☎魚津24-5311
砺波地方県民相談室	砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎砺波3-5151

KNB「こんにちは富山県です」 毎週日曜日、午前8時~8時30分	4月のテレビ	富山テレビ「110万人のひろば」 毎週日曜日午前9時~9時30分
ことしの予算	4日	富山県民の気質を考える
施設紹介	11日	商店街、若いセンス
リハビリテーション専門病院	18日	福祉マップ
知事と語る	25日	アーチェリー&弓道

県の施設や事業などの紹介を通じて、県政への理解と関心を高めていただき、みなさんの卒直なご意見や

ご要望をお聞きし「県民に向けて開かれた県政」を推進するために、県政バス教室を実施します。

なんでも見よう

くらしにかかわる56施設

聞いてみよう

申込期間

- 5月運行分／4月1日～4月10日
- 6月運行分／4月26日～5月4日
- 7月運行分／5月26日～6月5日
- 9月運行分／7月26日～8月5日
- 10・11月運行分／8月26日～9月4日

応募方法

次の要領で、往復はがきでお申し込みください。

参加の決定

応募者多数の場合は、抽選により参加者を決定し、結果を通知します。

携行品等

- (1)参加費は無料です。ただし、入館料等は負担してください。
- (2)昼食、お茶は各自持参してください。
- (3)団体については、指定される場所まで送迎します。

県政バス教室5月分申し込みは10日まで

申し込み先

地区	申し込み団体の所在地又は個人の住所地	申し込み先	所在地	電話番号
富山	富山市・上新川郡・婦負郡	知事公室広報課	富山市新総輪1-7 富山県庁内	0764 31-3131
高岡	高岡市・新湊市・水見市 射水郡・福岡町	高岡地方県民相談室	高岡市赤祖父211 高岡総合庁舎内	0766 21-9411
魚津	魚津市・黒部市・滑川市 中新川郡・下新川郡	魚津地方県民相談室	魚津市新宿10-7 魚津総合庁舎内	0765 24-5311
砺波	砺波市・小矢部市・東砺波郡・福光町	砺波地方県民相談室	砺波市幸町1-7 砺波総合庁舎内	07633 3-5151

(団体)

・団体名
・所在地の市町村名
・代表者氏名
・住所(〒)
・電話番号
・参加予定人数
・希望のコース及び運行月日

(個人)

・住所(〒)
・氏名
・電話番号
・希望コース及び運行月日

昭和57年度「県政バス教室」運行表

運行コースは変更になることもあります。物価バス、親子バス(8月)は別にコースを組みお知らせします。

地区	コース	運行日	コース
富山	A	5/1 5/2 5/3 5/4	井波彫刻伝産会館・(散居村)・野菜花き試験場(昼食) 自然博物館センターねいの里・県庁・情報処理教育室
	B	5/1 5/2 5/3 5/4	角川ダム・流杉老人ホーム(昼食)・県庁 富山市民俗民芸村・内山分館・神通川工業用水道
	C	5/1 5/2 5/3 5/4	健康増進センター・畜産試験場・大沢野パレス(昼食)(春日公園) 県立近代美術館・県庁・埋蔵文化財センター
	D	5/2 5/3 5/4	経済連精米場・公害センター・呉羽ハイツ(昼食) 県庁・緑化センター・健康増進センター
	E	5/3 5/4	薬草園(6月)立山寺(とが並木)(7・9月)・職業訓練短大・ 魚津水族館・水産試験場(昼食)・知事公館・県庁・KNB
高岡	A	5/2 5/3 5/4	木材試験場・畜産試験場・春日荘(昼食)(春日公園) 雄山神社・県庁・経済連精米場
	B	5/2 5/3 5/4	高瀬遺跡(井波歴史民俗資料館)・太閤山住宅(昼食)・内山分館 知事公館・県庁・県立近代美術館
	C	5/1 5/2 5/3 5/4	県民公園太閤山ランド・教育記念館(昼食)・県庁 健康増進センター・富山テレビ
	D	5/3 5/4	福寿園ディサービスセンター・繊維工業試験場(昼食)(散居村) 自然博物館センターねいの里・県庁・総合教育センター(第2研修部)
	E	5/3 5/4	林業試験場・県営ゴンドラリフト・立山山麓家族旅行村(昼食) 県庁・交通管制センター
魚津	A	5/1 5/2 5/3 5/4	科学文化センター・太閤山住宅・職業訓練センター(昼食) 県庁・健康増進センター・九重荘
	B	5/2 5/3 5/4	自然博物館センターねいの里・砺波青少年の家(昼食) 和田川水道・県庁・雄山神社
	C	5/1 5/2 5/3 5/4	風土記の丘・県営ゴンドラリフト・立山山麓家族旅行村(昼食) 県庁・交通管制センター
	D	5/2 5/3 5/4	瑞竜寺・二上青少年の家(昼食)・(二上万葉ライン) 県庁・富山テレビ・県立近代美術館
砺波	A	5/2 5/3 5/4	高志学園・高志授産ホーム・内山分館(昼食) 県庁・県立近代美術館・庄東発電所
	B	5/1 5/2 5/3 5/4	科学文化センター・健康増進センター・農業試験場(昼食) 県庁・情報処理教育室・埋蔵文化財センター
	C	5/1 5/2 5/3 5/4	魚津水族館・流杉老人ホーム(昼食)・県庁 NHK・呉羽少年自然の家
	D	5/3 5/4	子撫川ダム・(宮島峡)・農林漁業体験実習館(昼食) 県民公園太閤山ランド・県庁・自然博物館センターねいの里